

# 第4学年 国語科「慣用句」

◆本時の指導（第1時／全2時間）



(1)本時の目標

慣用句に関心を持ち、意味を調べたり、文の中で使ったりすることができる。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 慣用句について知る。 2 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「写真でわかる慣用句辞典」から、いくつかの慣用句を紹介し、生活の中で使われていることに気付かせる。</li> <li>慣用句の意味を調べ、例文を作ってオクリンクにまとめる学習の見通しをもたせる。</li> </ul>
	文の中で、慣用句を使ってみよう。	
展開	3 慣用句を調べる。 4 慣用句を使って文を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語辞典で、慣用句とその意味を調べさせる。</li> <li>慣用句の中心になる言葉を引き、慣用句を探すよう助言する。 例：「頭をひねる」→中心になる言葉は「頭」</li> <li>文作りが難しい児童は、国語辞典の例文を写してもよいことを伝える。</li> <li>早く終わった児童は、複数の文作りまたは、2つ目の慣用句調べに取り組ませる。</li> <li>途中で、どのような文を作っているか、交流時間を設ける。</li> </ul> ◇慣用句に関心を持ち、進んで意味を調べたり、文作りをしたりしている。(観察・オクリンク) 【オクリンク】 ★自分からすすんで調べたり、質問したりする。
まとめ	5 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>数人の児童の文を発表させ、そのよさを認める。</li> </ul>

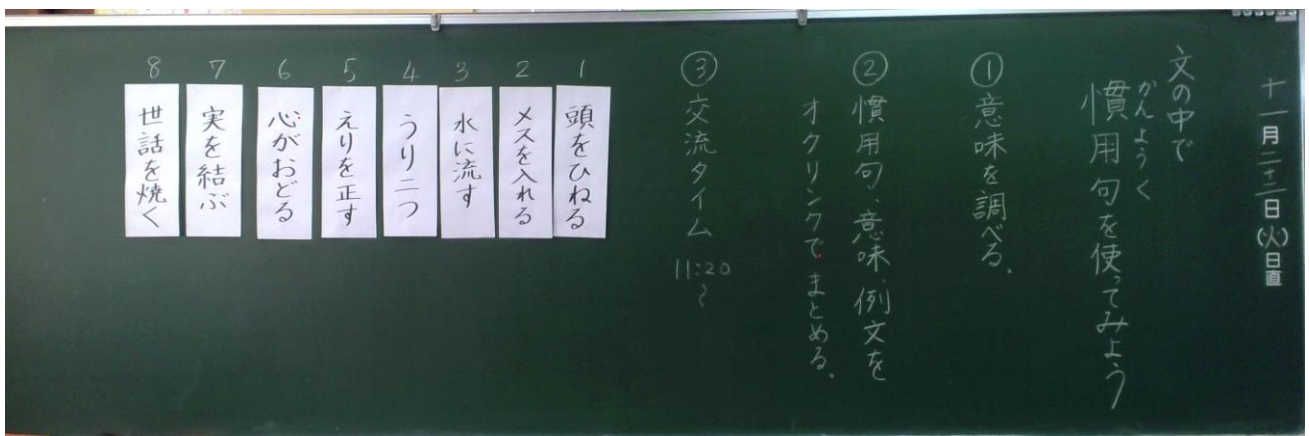
## ◆ 成果と課題

### 【成果】

オクリンクを使ってまとめる過程で、慣用句やその例文と一緒に、絵や画像も一緒に載せる児童が多かった。そのことが、慣用句についての理解を深めることにも繋がった。

### 【課題】

例文を自力で考えるのが難しい児童も数名いたので、個別の調べ活動に入る前に、いくつかの慣用句について、全体で一緒に例文を考える時間をとるとよかった。



# 第4学年 国語科「慣用句」

◆本時の指導（第1時／全2時間）



(1)本時の目標

慣用句の意味を知り、使うことができる。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 慣用句について知る。 2 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとって身近な慣用句の具体例を出し、その意味を考えさせる。</li> <li>慣用句には、体や心に関する言葉、動物や植物に関する言葉を含むもの、片仮名で書く言葉が入ったもの（四つの分類）があることをおさえる。</li> </ul>
	慣用句を使って、文を作ろう。	
展開	3 慣用句を選んで、調べる。  4 調べた慣用句を使って文を作る。 5 クラスで、作った文を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語辞典を二人に一冊用意し、調べさせる。</li> <li>教科書に載っている慣用句以外も調べてもよいこととする。</li> <li>必要があれば、タブレットを使用してもよいこととする。【インターネット】</li> <li>教科書の例以外の慣用句を調べた場合は、四つの分類、もしくは「その他」の分類のどれにあたるか分類させる。</li> <li>全体で、慣用句を用いた文を一つ作ることで、慣用句を用いた文の作り方をおさえる。</li> <li>「底が浅い」など、使い方によって相手をいやな気持ちにさせるものもあることをおさえる。</li> </ul> ◇慣用句を正しく使い、文を作っている。（ノート） <ul style="list-style-type: none"> <li>まず、隣同士で交流をさせ、気付いたことや、感想を伝え合わせた後、全体で交流させる。</li> </ul> ★友達の作った文から気付いたことや感想を伝えたり、それを聞いたりする。
	6 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の生活の中で慣用句を使っていけるように振り返らせる。</li> </ul>

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

導入において、慣用句の例として児童にとって親しみのあるテレビアニメで用いられていた慣用句を紹介したことで、ほとんどの児童が慣用句に対して抵抗なく学習に入ることができた。

### 【課題】

今回は、当日一人一冊の国語辞典を用意することができたためインターネットを利用して調べる児童はいなかったが、もしインターネットを利用する場合は情報量が多すぎるため、サイトを限定したり検索方法を事前に指導したりする必要がある。友達の文から気付いたことや感想を伝える活動については隣同士での交流の時間を十分にとることができなかつたため、ムーブノートなどを使用し家庭や次時に友達同士で意見交換ができるようにする方法が考えられる。



# 第4学年 国語科「春の楽しみ」

◆本時の指導（第1時／全3時間）



(1)本時の目標

春の行事に興味をもち、春の行事やそれに関わる言葉を集めることができる。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 「げんきにおよげ こいのぼり」の読み聞かせを聞く。 2 知っている行事について出し合う。 3 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事には、意味や願いがあることをおさえる。</li> <li>・日本の伝統的な行事について、Jambordで共有する。</li> <li>・地域によって、行事の行い方や時期が違うことをおさえる。</li> <li>・地域の行事でもよいことを伝える。</li> <li>・単元の最後に春の行事について知ったことを、クラスの友達に発表するという見通しをもたせる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">春の行事を表す言葉を集めよう。</div>	
展開	4 春の行事を表す言葉を、行事ごとに集める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jambordで、春の言葉を集め、班で共有する。</li> <li>・行事について、友達と話したり、本やインターネットで調べたりしてもよいことを伝える。</li> <li>・ある程度言葉が集まったら、その言葉の意味や由来等を調べ、ノートにメモをとるように促す。</li> </ul> <p>★行事について説明する文章を書くという見通しをもって春の行事やそれに関わる言葉についていろいろな方法で調べ、整理する。</p>
まとめ	5 集めた言葉をクラスで共有する。 6 次時の予定を知る。	<p>◇春の行事に興味をもち、春の行事やそれに関わる言葉を集め、交流している。【Jambord・発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、春の行事について、集めた言葉を使って説明する文章を書くことを伝える。</li> </ul>

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

児童が調べる方法を自分で選び、本やインターネットを使って春の行事について調べることができた。さらに、調べた行事について班で発表会をし、付箋交換によって感想を友達と伝え合う活動を通して「聞く・伝える力」の育成にも繋がった。Jambord を用いた春の言葉集めに関しては、友達と即時に共有することができた。

### 【課題】

Jambord の使用の際、タブレットの操作に手間取ったり、言葉があまり集まらなかったりした。言葉集めの段階で調べさせたり、黒板で一斉に共有したりした方がスムーズに進んだのではないかと考えられる。

# 第4学年 国語科「思いやりのデザイン」

◆本時の指導（第4時/全15時）



## (1)本時の目標

文章の内容を読み取り、正しい配列に並び替えようとする。

自分の考えを他者に伝えるために言葉や語順を工夫して発言する。

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 接続語や指示語に気をつけて読み進め、自分なりの答えを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を段落ごとに、ばらばらに並べたプリントを用意しておく。(教科書の本文は見せない)</li> </ul>
	2 全員の考えを黒板に書き示す。	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分の考えを発信しよう。</p> <p>◇文章の内容をよく読んで自分の考えを持てているか。</p>
展開	3 そのように考えたわけ、他者の意見で、納得できないところなどを意見交換する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える時間を経て、全体で話し合う。</li> <li>★自分の考えた順番の理由を発表する。 </li> <li>◇自分の考えを伝えるために工夫して話しているか。</li> <li>★友達の考えを理解しようとする。 </li> <li>・わかりにくい発言については適宜、解説をする。</li> <li>各々の意見の違いがはっきり分かるよう板書を色分けしたり記号を入れたりする。</li> <li>◇文章を読んで、おおまかな内容を捉えている。(発言・記述)</li> </ul>
まとめ	4 話し合いの結果 A 考えがまとまった場合 B 考えがまとまらなかった場合	<p>→教科書を配り、正解を確認する</p> <p>→残った意見の相違点を明らかにして次時も話し合いを継続することを伝える。</p>

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

それぞれが「正しい！」と思う意見だが、何通りもの考えが黒板上に並ぶことになった。自分の考えと他者の考えの何が違うのか、子どもたちは食い入るように黒板に並んだ記号を読み、さらに、自分の主張を分かってもらうために言葉を選んで、工夫して話し合えた。

### 【課題】

担任としては、全員に自分の考えを持ってもらいたい、そしてそれを主張してほしい、と思っている。しかし、この「思いやりのデザイン」での発言者は、12人だった。深く読むことを苦手としている子が多いように感じる。しかし、クラスは3年生からの継続で、何でも言い合える関係が築けているようにも感じる。



# 第4学年 国語科「世界にほこる和紙」

◆本時の指導（第4時/全15時間）



(1)本時の目標

文章を読んで、内容と構成を捉える。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を段落ごとに、ばらばらに並べたプリントを用意しておく。(教科書の本文は見せないでおく。)</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;">                     文章をくわしく読み、段落を正しい順に並べよう。                 </div> 2 前時までの内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめ(話題・考え)」「中(理由・例)」「終わり(まとめ・考え)」という説明文の文章構成を確認する。</li> <li>前時までに全体で話し合った内容を確認する。</li> </ul>
展開	3 段落を正しい順に並べ替える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考える時間、班で考えを交流する時間を経て、全体で話し合う。</li> <li>段落通しのつながりを意識したり、「はじめ・中・終わり」の構成を意識したりしている発言を価値付ける。</li> </ul> <p>★友達の考えを理解しようとする。 </p>
	4 正しい順に並べ替えた文章を「はじめ・中・終わり」に分ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で話し合ったことや板書を振り返りながら、文章全体を「はじめ・中・終わり」に分けさせる。(プリント)</li> </ul> <p>◇文章を読んで、おおまかな内容を捉えている。(発言・記述)</p>
まとめ	5 次時への見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を要約するために、中心となる語や文を見つけることを伝える。</li> </ul>

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

「正しい順に並べ替える」という課題を設定したため、文章をくわしく読む必然性が生まれ、主体的に読む姿勢につながった。

### 【課題】

段落を正しい順に並べ替え、班で考えを交流する際に、文章のどの言葉に注目したのかを話題に出すよう指示を出しておくと、よりよい話し合いになった。

# 第4学年 国語科「世界にほこる和紙」

◆本時の指導（第6時／全15時）



## (1)本時の目標

段落の要旨をまとめる（自分の考えをクラス全員の前で発表する）

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 世界にほこる和紙の段落文を黙読しその文章の内容を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">段落の内容を短い文章でまとめよう！</div>	・大切な言葉を探しながら読むように声をかける ★目的を持って読む  
展開	2 段落を読みキーワードをみつける キーワードを発表し、それについて意見交換する。  3 モニターに映る文章を空欄をうめながらノートに書く	・全員が集中して読めるように学習規律を徹底する ★自分で読んで大切だと感じる場所を見つける。 ★自分が大切だと感じた言葉を発表する。 ◇自分の考えを全体の前で発表できるか？  ・モニターに空欄のある要約文を映す。 ★空欄に当てはまる言葉を教科書から見つける。 ★見つけた言葉を発表する。 ◇自分の考えを全体の前で発表できるか？
ま	4 今日の授業で要約した文章を読んでみる。	・要約した文章がこの説明文の内容と違っていないか確かめる。

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

段落の要約の学習は「アップとルーズ」に続いて2回目なので、先を見通して読み、それぞれの段落の役割を意識しながら大事な言葉を選ぶことができていた。要約文の空欄ははじめは簡単な単語から始めたため、ほとんどの児童が挙手、発言できた。自分の考えを伝えたい、聞いてもらいたいという欲求が高まっていると感じた。

### 【課題】

「段落パズル～要約」のパターンは子供たちが深く読み、段落の内容を理解してからの要約文作成と進むため、よく理解できている児童にとっては有効だが、なかなか読解が進められない児童にとっては苦痛に感じてしまう学習になってしまうことがある。どの児童にとっても前向きに取り組める工夫が必要だと感じた。

# 第4学年 社会科「街の発展に尽くした人」




◆本時の指導（第7時／全8時間）



## (1)本時の目標

地域の発展に尽くした先人について、当時の世の中の課題や人々の願いに着目して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにする。

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 江戸の街中に水を通す水道システムについて確認する。  2 明暦の大火について知る。  3 火災拡大の原因を、タブレットを用いて調べる。 ・～家屋の密集が大災害に結びついたことを知る。  4 家屋の密集を解消するために多くの街が西部へと移転したことを知る。	・前時の学習をもとに、エンピ管ではない水道管を想起させる。 ・自分で当時の江戸の街をイメージさせる。 ★思いついた水道システムを発表する。   ・火災の規模や期間から大災害になってしまった理由を想像させる。 ・火災の状況を自分で想像させる。 ★大災害の原因を思いついたら自分の考えを発表する。   ・調べられない児童には検索ワードのヒントを与える。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">西部へ広がった玉川上水の有効利用を考えよう。</div> 5 新しい街のために水が必要。どうやったら西部の街に水を届けられるかを考える。 ・玉川上水の水を分けることを分水ということを知る。  6 どれくらいの分水が作られたかをタブレットを用いて調べ、ノートに記入する。  7 分水の工事は意外にも簡単だった理由を考える。	★水を引くための水源は？ドコを通すのか？を自分で考え想像し、自分の考えを発表する。   ・ノートに記入させることによって分水の多さを実感させる。  ◇先人たちの功績を自分で調べることができたか？その功績に対して自分なりの考えを持つことができたか？  ・ここまでの学習を振り返り、玉川上水の特徴を想起させる。
まとめ	6 学習を振り返る。 ・玉川上水は一度完成した後も、江戸の街の拡大に合わせて、その役割を広げていったことを知る。	

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

「江戸時代」とかなり昔のことではあるが、1学期の上水道の学習をもとに江戸時代の様子を想像しながらさまざまなアイデア（考え）を出し合い活発に話し合いができた。クラスの雰囲気も良くなり、ほとんどの子が自分の考えを発表できるようになってきた。

### 【課題】

タブレット PC を使って調べる活動は電波の状況等によりなかなか作業が進められない児童がでてしまう。大画面に提示された画像をもとに自分で想像を膨らませることは全員ができており、それを伝え合うことも楽しみながらできていたため、タブレット PC ありきでなく学習計画をしておくことが必要である。

# 第4学年 音楽科「日本の音楽に親しもう」

◆本時の指導（第1時／全2時間）



## (1)本時の目標

二つの「ソーラン節」を聴き比べながら、民謡「ソーラン節」の特徴を感じ取ろう。

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 「八木節」などの民謡を聴き、曲の雰囲気を感じ取る。 ・感じたことや聴き取ったことを伝えあう。	・日本各地の民謡を少しずつ聴かせ、簡単に説明を加えるようにする。
展開	2 二つの「ソーラン節」を聴き比べる。 ・民謡「ソーラン節」を聴く。 ・運動会で使用した「ソーラン節」を聴く。 ・「ソーラン節」の民謡は前者であることを知る。	・曲の一部分だけを聴き、思っていた音楽と違うと感じた場合は、何が違うかを聞く。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">民謡「ソーラン節」の特徴を感じ取ろう。</div> 3 民謡「ソーラン節」を鑑賞する。 ・何も見ずに聴き、どんな仕事をする時に歌っていたものか想像する。 ・ソーラン節の生まれた背景を知る。 4 「ソーラン節」の特徴を聴き取る。 ・聴き取る要素を手がかりに特徴をつかむ。 ・手拍子をし、速さや拍を感じながら聴く。 ・合いの手や掛け声をみんなで言う。	・「ソーラン節」が作業歌であることを伝え、歌詞に耳を傾けるよう声かけし、聴き取れた言葉からどんな仕事をしているか想像するよう助言する。 ・挿絵や歌詞を提示し、ニシン漁の作業から生まれた歌だということに気付くようにする。  ・聴き取る要素（拍・合いの手の有無・速さ・歌っている人数、歌い方）を提示し、特徴をつかめるようにする。  ・合いの手や掛け声の役割は何なのか考える。  <b>★音楽の特徴を感じ取るために、 諸要素を手がかりにしながら目的をもって聴く。</b>
まとめ	5 本時の学習を振り返り、作業や仕事と結びついた音楽が他にもあることを知る。	・南部牛追い歌（岩手県民謡）を聴く。

◇日本の音楽に興味関心をもち、曲の特徴に気付いて聴く学習に進んで取り組んでいる。  
(発言・ワークシート)

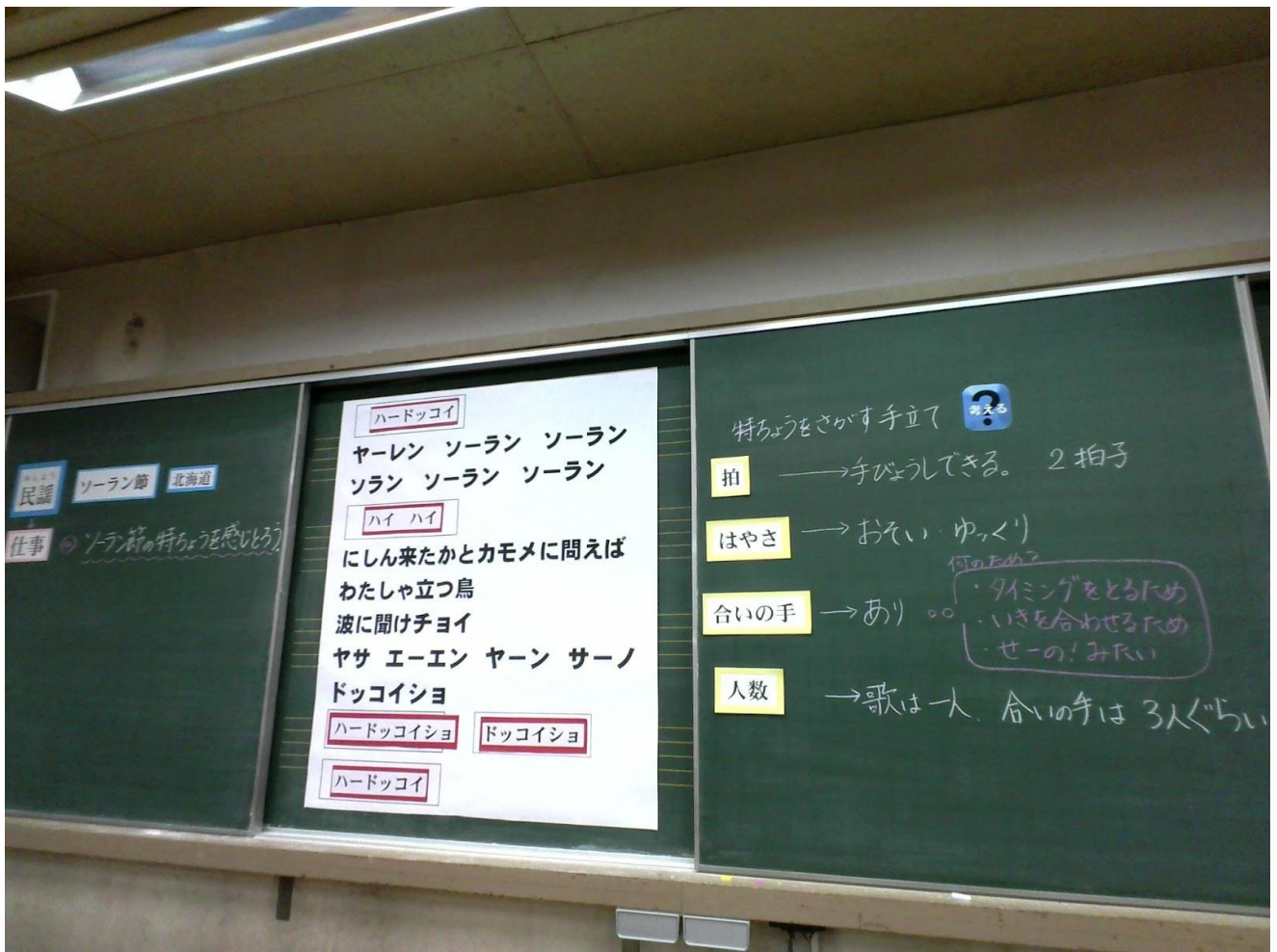
## ◆ 成果と課題

### 【成果】

内容の違う「ソーラン節」を聴き比べることにより、その違いから楽曲に集中させることができ、その楽曲のもつ音楽的価値に気付かせることができた。

### 【課題】

鑑賞ではどの音源を教材として使うかが重要である。感じ取らせたい音楽的要素に着目できるように適した音源を選択するようにしたい。





# 第4学年 図画工作科「自分いろいろがみから」

◆本時の指導（第4・5時/全7時間）



(1)本時の目標

自分で工夫して色をつけた「自分いろいろがみ」を切って組み合わせて、工夫して表す。

(2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 前回までに、工夫して色をつけた紙を見ながら、切って組み合わせてどんなものを表現したいか、考える。  ・台紙となる色画用紙を選ぶ。	・切って組み合わせて新たに表すことを理解させる。 ・絵本「はらぺこあおむし」のエリックカール氏もそのような技法で表現していることを伝え、イメージをもたせる。  ◇自分で色をつけた紙を、切って組み合わせて表すことに、興味をもつ。＜学びに向かう力、人間性等＞
	色をつけた「自分いろいろがみ」を切って、くみ合わせて、工夫してあらわそう。	
展開	2 自分の表したいものを考え、「自分いろいろがみ」をはさみで切ったり、のりではったりして表す。  ・生き物、食べ物、乗り物、景色など、自由に自分の表現したいものを考えてよいことを伝える。	・今ある「自分いろいろがみ」で工夫して活用して欲しいが、欲しい色がない場合、絵の具で新たに「自分いろいろがみ」をつくることも可とする。（コロナ禍でなければ友人同士の交換もよい） ・「自分いろいろがみ」をあまり切りたくない児童がいた場合、工夫して欲しい気持ちはあるが、柔軟に対応する。 ◇表したいものを自分で発想している。 ＜思考力、判断力、表現力等＞ ◇自分で色をつけた紙を、切って組み合わせて工夫して表している。 ＜知識及び技能＞  ★自分の発想を生かし、表現することを通して育む、自分のいいところを見つける力。
まとめ	3 友達の商品を見る。伝えあう。 4 片付ける。	★友達の商品を見て、よさや面白さを感じたり伝えあったりすることを通して育む、考えや気持ちを聞く・伝える力。



## ◆ 成果と課題

### 【成果】

自分が楽しんで色をつけた紙に、思い入れをもって、表現する様子が見られた。

### 【課題】

鑑賞の時間を十分にとることができなかったので、もっと互いのよさを伝え合う活動時間を確保したり、鑑賞の仕方を工夫したりする必要がある。

# 第4学年 道徳科 「『思いやり』って」

## ◆本時の指導




### (1) 本時の目標

骨折した友達に手を貸そうとする「わたし」の姿を通して、思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の気持ちを想像して、進んで親切にしようとする判断力を育てる。

【B：親切・思いやり】

### (2) 本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	1 本時のめあてを確認する  「思いやり」とは、どのようなものか考えよう。	
展開	2 教材文「『思いやり』って」を読んで話し合う。 ○「わたし」がプリントを畳んだとき、なんだか悲しそうだった夏実を見て、「わたし」はどんなことを思ったのか。 ○夏実の笑顔に、どうして「わたし」まで嬉しくなったのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたし」と夏実の思いがすれ違っていたことに気付かせる。</li> <li>・「わたし」が自分の行動について自問自答していることに気付かせる。</li> <li>・机と椅子を運び終えるまで「わたし」が見守ってくれたことに、夏実は感謝し、笑顔になったことに着目させる。</li> <li>・相手の気持ちに寄り添うことが、適切な心配りだということに気付かせる。</li> </ul> <p>★友達の気持ちや考えを理解しようとする。</p> 
まとめ	3 本時の学習を振り返る。 「思いやり」とは、どのようなものかを考える。	◇「思いやり」について、自分の経験も振り返りながら、考えを深めている。(ワークシート)

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

考えの深まりに個人差はあるが、「相手の気持ちを考えること」が思いやりであるという考えをもたせることができた。

### 【課題】

より活発な議論ができるように、役割演技やムーブノートでの交流という方法を取り入れることも必要だ。

# 第4学年 道徳科「祭りだいこ」

◆本時の指導（第1時／全1時間）




## (1)本時の目標

社会科、国語科や音楽科の学習と関連させ、地域の文化を大切にすることについて考え、それらに積極的に関わろうとする実践意欲を育てる。

【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】

## (2)本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準 ★育てたい基礎的・汎用的能力
導入	<p>1 和太鼓、締太鼓を実際に見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科学習発表会で使った大太鼓とはちょっと違うね。</li> <li>・お祭りのときの太鼓だ。</li> <li>・見たことあるよ。</li> <li>・叩いたことはない。</li> </ul> <p>2 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     地域に昔から伝わっている文化について考えよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りで使われる楽器を紹介することで、教材への導入を図る。</li> </ul>
	<p>3 教材文を読み、話し合う。</p> <p>○良子がおはやしをするかどうか、すぐには決めることができなかつたのは、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみたいけど、恥ずかしい。</li> <li>・お父さんの願いに応えたいけど、難しそう。</li> <li>・練習が大変そう。</li> <li>・山田さんがやるならやろうかな。</li> </ul> <p>○地域の人々（係の青木さんや先ばいたち、練習を見に来たおおぜいの大人や子ども、係ではないけれど教えてくれる人）のお祭りに対する思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りを成功させたいと思っている。</li> <li>・お祭りを大切に思っている。</li> <li>・村のお祭りを誇りに思っている。</li> <li>・お祭りを次の世代に引き継がなければと思っている。</li> </ul> <p>○良子が「いつか妹といっしょにおはやしをしたい」と思ったのは、どのような思いからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妹にも、お祭りを引き継いで、伝統を伝えていきたい。</li> <li>・自分も地域の一員として、お祭りに参加したい。</li> <li>・伝統文化を大切にしたいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化にはどのようなものがあるか、児童からいくつか出させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良子のやりたい気持ちと恥ずかしい気持ちの葛藤を考えさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々の熱心さに着目させ、その熱心さがどこから来るものなのか考えさせる。</li> </ul> <p>★相互指名により、児童が主体的に自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりする。                      (☞：似ている意見、付け足し                      (☜：違う意見)</p>
展開		

まとめ	<p>4 地域に昔から伝わっている文化とどのように関わっていきたいか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• これからは、できるだけお祭りに参加していききたい。</li> <li>• 練馬区のお祭りや伝統工芸品について、調べていききたい。</li> <li>• 自分の子供にも、練馬区のお祭りを伝えていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域との関わりについて振り返らせながら、地域の文化を継承していくことについて考えさせる。</li> <li>★地域の文化を大切にしたり、伝えていったりするために、自分はどのようにすればよいか考える。</li> </ul> <div style="text-align: right;"></div> <p>◇地域の文化を大切にすることについて考え、自分にはどのようなことができるか考えている。(ワークシート)</p>
-----	---	--

## ◆ 成果と課題

### 【成果】

相互指名による交流を通して、互いの意見を聞こうとする様子が見られ話し合いを活発にすることができた。また、意見の種類によってサインを分けることで、指名する側は自分の聞きたい意見を選択して指名することができ、友達の意見を聞きたいという意欲に繋がった。

さらに他教科と関連させたことで、より自分自身の生活と関係付けて考えさせることができた。

### 【課題】

「昔から伝わっている文化」について、児童から「高速道路」などの発言があったため、始めに「文化」について押さえる必要があった。また、「昔」をどの程度の昔とするのか位置を検討する必要があった。